

1 通学について

- ① 登下校時は原則として制服を着用する。ただし悪天候の場合は服装を各自判断し、登校してもよい。また、放課後の部活動後の下校は部活動の服装でもよい。
- ② 登下校は交通ルールを守り、保護者と共に確認した安全な通学路を通る。
- ③ 通学に自転車やバスの利用をする場合は、必ず校長の許可を受ける。
- ④ 自転車通学については、次の条件を満たしている者とする。
 - ア 自宅から天竜中学校までの直線距離が1.7km以上であること。
 - イ 学校指定ステッカーを貼った自転車を使用すること。
 - ウ 自転車に乗用する際は、安全のため必ずヘルメットを着用すること。

2 服装について

- ① 標準学生服（夏服は白のワイシャツか開襟シャツと学生ズボン。冬服は左襟に校章をつける）や本校指定のセーラー服（ネクタイの結び目に校章をつける）とする。
- ② 通学用の靴は白、黒、紺、灰色の運動靴とする。（ワンポイントの色も同様）
- ③ 靴下は白、黒、紺、灰色とする。（ワンポイントは可。）儀式の際は白色のくるぶしがしっかりと隠れる長さの靴下を着用する。
- ④ 校内生活の服装は、制服か本校指定の体操服またはジャージとする。
- ⑤ 儀式、朝会、テストなどでは、制服を着用して参加する。
- ⑥ 登下校時にマフラーや手袋、部活動で購入したウインドブレーカーやコートを着用してもよい。ただしマフラーや手袋の脱着は昇降口で行う。また、ジャージの下にトレーナーやセーター、そして体操服の下にスパッツ、アンダーシャツを着用してもよいが、華美でないものとする。（黒・紺・白・灰色など）
- ⑦ 通学用カバンは本校指定のものを使用する。キーホルダーの装着は可とする。ただし、装着の際は以下を守ること。
 - ・無くして困るものや、機能性のあるものはつけない。
 - 例）個人が特定されるような写真、高価なもの、電子機器、光るもの、遊び目的に使用できるもの、危険なもの、音が出るもの（ただし、防犯ブザーは可）等
 - ・数は2個までつけてよいが、大きさは2つ合わせても8cm×8cm×8cm程度以内とする。ただし、チェーン等の紐は含まない。

3 頭髪について

- ① 頭髪は清潔で中学生らしい髪型とする。
 - 例）勉強や運動がしやすい髪型、周囲に不快感を与えない髪型

4 所持品について

- ① 学習に関係のないものは持ってこない。
 - 例）ゲーム機、音楽プレーヤー、マンガ、現金、カッター、お菓子、整髪料、化粧品 等

5 欠席・遅刻・早退について

- ① 昇降口は7:40に開錠する。
- ② 8:10に出席確認を行う。そのためロッカーに荷物をしまい、着席し朝読書を行う。
- ③ 欠席・遅刻・早退連絡は、8:00までに保護者がさくら連絡網か電話連絡で行う。

6 職員室での作法

- ① テスト当日は終日入室しない。また、会議中も入室しない。
- ② 通学用カバン等の荷物は廊下で降ろし、入室する。
- ③ 用事のある先生を確認し、会話中や電話中であれば、廊下で待機して会話を遮ることのないように気を付ける。

7 部活動について

- ① 活動開始時刻は、帰りのあいさつから15分以内に開始できるように、速やかに活動場所に移動し、準備すること。
- ② テスト3日前からテスト週間として練習を中止する。ただし、公式戦の近い部については申し出により許可することもある。
- ③ 完全下校時刻
4月 18:00 5月～9月 18:15 10月 17:45 11月～2月 17:15 3月 17:45
※ 活動（競技等）の特性と、活動場所の状況、大会スケジュール等によって一部終了時刻を変更にすることもある。

8 保健室の利用の仕方

- (1) 病気・けがをしたときは、次の手順を踏み、保健室で手当てを受ける。
 - ① 授 業 中 … 教科担任の先生に申し出る。(保健室利用カード持参)
 - ② 休み時間中 … 次時の教科担任の先生に申し出る。(保健室利用カード持参)
 - ③ 部 活 動 中 … 顧問の先生に申し出る。
 - ④ 緊急の場合 … 保健室に直接来る。後から担任の先生や顧問の先生に伝える。
- (2) 病気やけが等で遅刻や早退をする場合
 - ① 教員の許可を得て保護者に迎えに来てもらい早退する。
 - ② 遅刻して登校してきた時は、必ず職員室に寄り、経過を学年の先生に報告する。
- (3) その他
 - ① 学校生活や部活動でけがをして受診した際には、必ず顧問、担任、養護教諭に申し出る。(スポーツ振興センターの手続きがあるため)
 - ② 体調不良等により保健室で休む場合は、原則として1時間とする。それ以上の時間の利用は認めない。1時間経っても体調が優れない場合は、早退となる。

※ 学校の決まりは、生徒たちの安全と自治的で秩序ある生活のために存在します。改善した方が良いところがあれば、その都度話し合いを経て変更していきます。